

広報しろね

S·h·i·r·o·n·e

2000.3.15
No.565



いっしょに凧合戦に参加しませんか

桜町青年会 (大凧・桜蝶組)



昨年白根大凧合戦「大凧技能の部」で、十年ぶりに優勝した桜蝶組。紙張りや下絵描きなど、今年の凧合戦に向けて準備が始まりました。

「初めて参加して、優勝という素晴らしい体験。もうやめられませんが、凧も好きですが、みんなの顔が見たくて。いろんな人との出会いがいいですね」と会員の皆さん。桜町青年会は、桜町自治会の青年を中心に市内外からも集まり、凧の取り組みのほか、花見、野球、サッカーなどレクリエーション活動を通して親睦を深めています。

「目標は、年連続優勝。でも、これまでのアットホームな雰囲気、凧合戦を楽しんでいきたい」と会長の永井博文さん。「凧を揚げたいと思っている人、女性もOK。もっと大勢の人たちから、僕らといっしょに凧綱にかまっしてほしいです」と話しています。

問い合わせは、桜町青年会事務局(☎090・2557・0312)へ。

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

ムカデ凧 (香川県高松市)

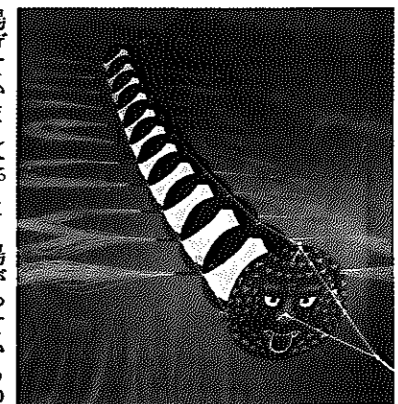
大きな目を光らせ、赤い舌を突き出した、グロテスクな表情の日本製の凧です。円盤の両端にわらのような羽根が射付けられます。

ムカデ凧の本家は中国です。美術品ともいえる本場のムカデは、その精巧な製作技術に驚かされます。高松のムカデは素材でなく、土のにおいが漂います。あまりにゴツイ凧なので、「揚がるのかな」と疑問を持っていました。

一月、姫路の凧揚げ大会に参加してきました。風がやや弱く、凧を揚げるのに苦労しました。高松から参加した凧仲間の江口時夫さんが、ムカデ凧を

あなたも凧博士

文・田村和雄
(しろね大凧と歴史の館運営委員会委員長)



揚げていました。よく揚がっているのは、びっくりです。見識が足りませんでした。

高松周辺は凧どころです。さまざまな形をした凧が作られています。五ツ輪や提灯凧、細長い角凧はマスカと呼べ、近くの詫間町ではカルタとい

＝交通事故の発生件数＝

白根警察署管内	2月末現在
	※ () は前年同期
発生件数	41件 (40件)
死者数	0人 (0人)
負傷者数	45人 (54人)

◎まちの話題でも紹介した初期消火協力者の表彰式で、消火時の様子をお聞きすることができました。火事ははやで済みましたが、初めにカーテンを外して消そうとしたがだめで、消火器を2本使って無事消し止めたそうです。あらためて消火器の備え付けの大切さに気付かされました。◎4月には春の火災予防週間が始まります。火の元には十分ご注意ください。(さ)

平成11年度一般会計予算の執行状況 白根市の財政状況

市政クリップ(介護保険事業計画策定委員会が市長に答申ほか) まちの話題(にいたクッキング教室ほか) お知らせ

みんなのページ
イラスト倶楽部
サークル通信(桜町青年会)
あなたも凧博士(ムカデ凧)

